

近代の文化遺産の保存修復に関する調査研究 (①必修07-13-3/5)

目 的

近代の文化遺産は、従来の文化財とは、規模、材質など大きく違い、その保存方法や使用材料などにも違いがある。本研究では、その様な近代の文化遺産の保存修復を行う上で必要とされる材料と技術について調査研究を行う。また、活用方法についても、調査研究を行い、保存の方法や修復の進め方などにおいてよりよい状態で保存できるようにすることを目指している。

成 果

明治維新以降急速に普及した洋服、建築物や列車（御料車など）の室内装飾に使用された裂地などの保存と修復及び活用に関して、また、それまで服飾には使用されてこなかった材料を使った服飾品の保存手法等に関して関係者を招き、研究会を開催し、美術的な位置づけや技術的問題点に関する保存と修復手法について、発表、討論を行い、保存や修復に関する理解を深める事ができた。

新潟県佐渡市の佐渡金銀山遺跡、静岡県伊豆の国市の葦山反射炉、山口県萩市の反射炉など、史跡指定地内の建造物や構造物の保存と修復に関する研究会を実施するとともに現地調査も実施した。屋外展示されている大型構造物、鉄道車両や航空機などの文化財の防錆対策のため試験片を使った屋外暴露試験にて塗装仕様と劣化速度の相関について調査した。昨年度の研究会をまとめた報告書を刊行した。

国内調査施設：大樹町多目的航空公園、海上自衛隊鹿屋航空基地、小樽市総合博物館、新潟県佐渡市の佐渡金銀山遺跡、静岡県伊豆の国市の葦山反射炉、山口県萩市の萩反射炉、博物館明治村、鉄道博物館、文化学園服飾博物館、杉野学園衣装博物館等

論文

- ・NAKAYAMA Shunsuke, Regarding Oil Paint Used in Modern Japanese Architecture 『Oil Paint Used in Modern Japanese Architecture』 pp.5-15 14.3
- ・中山俊介「御料車の保存と修復及び活用」『御料車の保存と修復及び活用』 pp.5-14 14.3

発表

- ・中山俊介「近代木製家具の修復技法及び材料に関する調査研究」文化財保存修復学会第35回大会 13.7.20
- ・中山俊介「御料車の保存と修復及び活用」第27回研究会「近代テキスタイルの保存と修復に関する研究会」東京文化財研究所 13.11.22

研究会

- ・第27回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会「近代テキスタイルの保存と修復に関する研究会」東京文化財研究所 13.11.22

刊行物

- ・『御料車の保存と修復及び活用』東京文化財研究所 14.3
- ・『Oil Paint Used in Modern Japanese Architecture』東京文化財研究所 14.3

研究組織

○中山俊介、池田芳妃（以上、保存修復科学センター）、横山晋太郎、長島宏行、小堀信幸、石井美恵（以上、客員研究員）